

党の任務……大衆の主要な根本的な不幸を取り除く運動

10 おびただしブルジョアの財政改革案にこたえて、社会民主党の主要な任務は、動員と戦争の重荷を労働者と貧農に転嫁しようとするブルジョアジーの試みを暴露することではなければならない。

社会民主党は、どんなばあいにも、どんな口実によっても、間接税に同意することはできない。社会民主党が間接税に同意することをゆるしているアーラウ大会（1915年）の決定も、チューリヒ大会におけるフーバー＝グリムの決議も、廃棄されなければならない。すべての社会民主主義組織は、ただちに、1917年2月のベルン党大会のもっとも精力的な準備を開始するとともに、このような廃棄に賛成する代議員を同大会に選出すべきである。

資本主義制度を維持したままで、すなわち大衆の貧困を永続させながら、ブルジョア政府がこんにちの苦境を切りぬけるのをたすけること——このことは、自由主義的官吏の任務であって、けっして革命的な社会民主党の任務ではない。

11 社会民主主義者は、つぎの税率をくぐらない高い高い累進税率による単一の連邦税としての財産税と所得税とが緊切に必要なことを、大衆にできるだけひろく宣伝しなければならない。

財産	所得	税率
二〇、〇〇〇フラン——	五、〇〇〇——	免税
五〇、〇〇〇 〃 ——	一〇、〇〇〇——	一〇%
一〇〇、〇〇〇 〃 ——	二五、〇〇〇——	四〇%
二〇〇、〇〇〇 〃 ——	六〇、〇〇〇——	六〇% 等々。

年金受領者にたいする租税は、

一日	四フラン以下	——	免税
〃	五フラン	——	一%
〃	一〇フラン	——	二〇%
〃	二〇フラン	——	二五% 等々。

12 社会民主党のなかの多数の日和見主義者もまたひろめているが、あたかも財産税と所得税の革命的に高い税率を宣伝することは「実際のでない」かのようにいうブルジョアのうそと、社会民主主義者は容赦なくたたかわなければならない。それどころか、これは唯一の実際的な、唯一の社会民主主義的政策である。なぜなら、第一に、われわれは、金持に「受けいられる」ものに順応するのではなく、ある程度はほかならぬ社会民主党の改良主義的、日和見主義的性格のために、同党に冷淡な態度をとるか、あるいは不信の目でみている貧民と無産者の広範な大衆に訴えなければならないからである。第二に、ブルジョアジーに譲歩させる唯一の方法は、彼らとの「取引」にあるのでもなければ、彼らの利益または彼らの偏見への「順応」にあるのでもなく、彼らに対抗して、大衆の革命的勢力を準備することにあるからである、そしてわれわれが革命的に高い税率が正当であり、それをかちとるたたかいが必要であることを多くの人々に説得すればするほど、ブルジョアジーは、それだけ早く譲歩に応じるであろうし、またわれわれは、ブルジョアジー

の完全な収奪をめざす不屈な闘争のために、たとえ小さな譲歩でも一つのこらず利用するであろう。

.....

三 とくに緊切な民主主義的改造と、政治闘争と議会制度との利用

16 改良主義的ではなく、すなわちブルジョアジーに「受けいられる」ような、したがって大衆の主要な根本的な不幸を取りのぞく力のないような改良を擁護するためではなく、スイスの社会主義的改造——経済的に十分実現できるし、また堪えがたい物価騰貴と金融資本の圧制の結果としても、戦争によってつくられ、全ヨーロッパのプロレタリアートを革命の道へ押しやっている国際関係によっても、ますます緊切に必要となりつつある社会主義的改造の宣伝のために、議会の演壇と発議権および一般投票権を利用すること。

17 男子の政治的権利に比較して、婦人のそれにくわえられている制限を例外なくすべて撤廃すること。戦争と物価騰貴が広範な人民大衆を動揺させ、とくに婦人の関心と注意とを政治へ引きつけているような時には、この改造がとくに緊切なものであることを大衆に説明すること。

.....

四 党の宣伝・煽動・組織の当面の任務

20 大衆にたいする社会民主党の影響をひろげるための系統的な、ねばり強い活動をする事なく、勤労被搾取大衆の新しい層を運動へ引き入れることなしには、大衆の革命的闘争にかんするアウラ決定の真の実行は不可能である。社会革命のための宣伝・煽動は、資本主義のもとではつねにプロレタリアートの、一般に被抑圧階級の少数をしめるにすぎない組織労働者にはっきりわかるだけでなく、資本主義のおそるべき圧制のために系統的に組織をつくる能力をもたない被搾取者の多数にもはっきりとわかるようにするために、もっと具体的に、一目瞭然と、直接的=実践的にこれをおこなわねばならない。

21 より広範な大衆に働きかけるためには、党は、大衆にむかって、革命的プロレタリアートは国民の10分の9に必要で、国民の利益にそっている、スイスの社会主義的改造をめざしてたたかっていることを説明する、無料配布のビラを、もっと系統的に発行するようにならなければならない。そういうビラをひろめる仕事のうえで、党のすべての支部、とくに青年組織のあいだに公然の競争を組織すること、街路、住宅、アパートごとの煽動。農業労働者や雇農や日雇のあいだの、また賃金労働者を搾取せず、物価騰貴でもうけず、むしろそれに苦しめられている、農民の極貧部分のあいだの煽動にむけられる注意と精力をつよめること。正当にも労働者の退屈と不信を呼びおこしている議会内の改良主義的無駄話のためではなく、むしろ、都市、とくに農村におけるプロレタリアートと半プロレタリアートのもっともおくれた諸層のあいだで社会主義革命を宣伝するために、自分のとくに有利な政治的地位を利用するように、党の議会代表（Nationalrat, Kantonsrat, Grossrat およびその他の Rate の）に要求すること。

22 労働者階級、事務職員、等々の経済的団体は「中立的」だという理論ときっぱり手をきる事。戦争がとくに明瞭に立証した真理、すなわち、いわゆる「中立性」はブルジョア的欺瞞あるいは偽善であるということ、それは実際には、ブルジョアジーへの、とくに、たとえば帝国主義戦争のような、彼らのいまわしい企図への、消極的従属を意味す

るということを大衆に説明すること。労働者階級、小ブルジョアジーの極貧諸層、あるいは事務職員のあらゆる組合のあいだで社会民主主義活動を強化し、すべてのこのような組合の内部に社会民主主義者の特別なグループをつくり、これらすべての組合のなかで、革命的な社会民主主義派が多数をしめ、指導部をその手ににぎるような状態を系統的に準備すること。革命的闘争を成功させるうえで、この条件がとくに重要であることを大衆に説明すること。

23 青年が軍隊にはいる前にも、在隊中にも、軍隊内で社会民主主義活動を拡大し、強化すること。あらゆる部隊のなかに社会民主主義グループをつくりだすこと。ただ一つ正当な戦争、すなわち賃金奴隷制から人類を解放するためにプロレタリアートがブルジョアジーにたいしてする戦争で武器をつかうことが、社会主義の見地からみて、歴史的に必然であり、正当であることを説明すること。軍隊の革命的な部分の闘争と、プロレタリアートの、一般に国民のなかの被搾取者の広範な運動とを結びつけるために、孤立したアテンタート（暗殺の企て）に反対する宣伝をおこなうこと。オルテン決定のうち、軍隊がストライキ参加者にたいしてつかわれるばあい服従を拒否するように兵士に勧告している部分の宣伝、おなじくまた、消極的な服従拒否だけにとどめない必要についての宣伝を強化すること。

24 首尾一貫した革命的な社会民主主義の高度に発展した方向をめざす実践活動と——すべての文明国で形成されていて、スイスでも（とくに1916年のチューリヒ大会で）最後的にはっきりした形をとるにいたった、近代労働運動の三つの主要な傾向のあいだの系統的な原則上の闘争と——この両者の切りはなせない結びつきを大衆に説明すること、その三つの傾向とは、つぎのようなものである。（一）社会愛国主義者。すなわち1914～1916年の現在の帝国主義戦争で「祖国擁護」を公然と承認している人々。これは、労働運動内のブルジョアジーの手先の日和見主義的傾向である。（二）帝国主義戦争における「祖国擁護」を原則的に排撃し、ブルジョアジーの手先である社会愛国主義者と手をきることに賛成し、大衆の革命的闘争の宣伝と準備に応じた社会民主主義的戦術の完全な再編成と関連して、大衆の革命的闘争に賛成するツィンメルヴァルド左派。（三）第一の傾向と第二の傾向との統一に賛成するいわゆる「中央派」（ドイツのカウツキー—ハーゼ、《Arbeitsgemeinschaft》、フランスのロンゲープレスマヌ）。このような「統一」は、革命的な社会民主主義派に活動を展開することをゆるさず、また、党の諸原則と党の実践との切りはなしがたい完全な結びつきがないため大衆を腐敗させるので、党の手をしぼるものにはすぎない。注）…線での表記の部分は青山が元文を省略したもの。

第23巻 P150~155 「スイス社会民主党内のツィンメルヴァルド左派の任務」

1916年10月末～11月初めに執筆

ポイント

1 財源問題

社会民主党の主要な任務は、動員と戦争の重荷を労働者と貧農に転嫁しようとするブルジョアジーの試みを暴露することではなければならない。社会民主党は、どんなばあいにも、どんな口実によっても、間接税に同意することはできない。

資本主義制度を維持したままで、すなわち大衆の貧困を永続させながら、ブルジョア政

府がこんにちの苦境を切りぬけるのをたすけること——このことは、自由主義的官吏の任務であって、けっして革命的な社会民主党の任務ではない。社会民主主義者は、高い高い累進税率による単一の連邦税としての財産税と所得税とが緊切に必要なことを、大衆にできるだけひろく宣伝しなければならない。

なぜなら、第一に、われわれは、金持に「受けいれられる」ものに順応するのではなく、貧民と無産者の広範な大衆に訴えなければならないからである。第二に、ブルジョアジーに譲歩させる唯一の方法は、彼らとの「取引」にあるのでもなければ、彼らの利益または彼らの偏見への「順応」にあるのでもなく、彼らに対抗して、大衆の革命的勢力を準備することにあるからである。

2 議会制度の利用

改良主義的ではなく、すなわちブルジョアジーに「受けいれられる」ような、したがって大衆の主要な根本的な不幸を取りのぞく力のないような改良を擁護するためにではなく、ますます緊切に必要となりつつある社会主義的改造の宣伝のために、議会の演壇と発議権および一般投票権を利用すること。

3 党の宣伝・煽動・組織の当面の任務

社会革命のための**宣伝・煽動**は、資本主義のもとではつねにプロレタリアートの、一般に被抑圧階級の少数をしめるにすぎない**組織労働者**にはっきりわかるだけでなく、資本主義のおそるべき**圧制のために系統的に組織をつくる能力をもたない被搾取者の多数**にもはっきりとわかるようにするために、もっと具体的に、一目瞭然と、直接的=実践的にこれをおこなわねばならない。大衆にたいする社会民主党の影響をひろげるための系統的な、ねばり強い活動することなく、勤労被搾取大衆の新しい層を運動へ引き入れることなしには、社会革命を遂行することはできない。

より広範な大衆に働きかけるためには、党は、大衆にむかって、国民の10分の9に必要で、国民の利益にそっている、スイスの社会主義的改造をめざしてたたかっていることを説明する、無料配布のビラを、もっと系統的に発行するようにならなければならない。同時に、党の議会代表は議会内の改良主義的無駄話のためではなく、むしろ、都市、とくに農村におけるプロレタリアートと半プロレタリアートのもっともおくれた諸層のあいだで社会主義革命を宣伝するために、自分のとくに有利な政治的地位を利用するようにならなければならない。

スイスでも近代労働運動の三つの主要な傾向があり、その三つの傾向とは、(一)労働運動内のブルジョアジーの手先の日和見主義的傾向、(二)大衆の革命的闘争に賛成するツィンメルヴァルド左派、(三)第一の傾向と第二の傾向との統一に賛成するいわゆる「中央派」、であり、「中央派」の主張する「統一」は、革命的社会民主主義派に活動を展開することをゆるさず、また、党の諸原則と党の実践との切りはなしがたい完全な結びつきがないため大衆を腐敗さ、党の手をしぼるものにすぎない。